

# JWA / 新型コロナウイルス感染症予防対策

2021年7月12日現在

・令和3年4月27日付内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長より、各都道府県知事宛に発出されている「特定都道府県および重点措置区域以外の地域における催物の開催制限に係る留意事項」に基づき、2021年6月末まではこの留意事項を継続するとの方針に従い、更に直近のコロナ情勢に対するJWAの見解を加えて見直したものです。ウォーキングイベントの開催及び運営を考える上で考慮しなくてはならない。

項目	感染症予防対策
行事企画	<p>会場にての誘導対策は人数を制限などし会場内混雑を避けて運営できますので、運営は可能です。 しかしウォーキングは公共の歩道を利用した行事となります。 歩道は一般使用者とイベント参加者とが同時に使用しますので、参加者に歩道半分開けて一般の方々に迷惑が かからない様に心がけて歩いていただけたらと思いますが、現実には非常に無理です、対応策として企画の段階でコロナ感染症予防対策としての密を避けた、細長くゆつりのある列ができるような工夫が必要となります。 そこで考えられるのが、募集人員にてコントロールし短時間通過で住民にあまり迷惑を掛けない事業企画を立てる。 ※これを参考にコロナ感染症予防対策を含め対応策として 免許の取得交通ルールで学ぶのには、罰則等がありマナーは守られますが、歩道を利用する自転車や歩行者にはルールマナーあってもほとんど守られていないのが現状です、自転車も歩道、車道関係なく狭い歩道でも乗り入れています。 歩行者もおしゃべりしながら歩道幅一杯に広がって反対方向から来られた方に譲ることなく平然と歩いたりします。 これらを参考にコロナ感染症予防対策として企画運営を考える。 密を避ける工夫として募集の段階で時間差（100人位目安）15分間隔事に、スタートも考えてみたら良い。</p>
企画実行事前計画	<p>受付前の対応 受付前の密にならないよう待機場所スペースを確保 体温測定器用意 と 参加当日体調チェック項目用紙 準備 受付前には体温測定器設置とアルコール消毒液を準備 受付後出来るだけ速やかにスタートをさせることを考えて置く スタート前の挨拶がある時には、待機場所の間隔を十分に開け密を避けて待機させ、挨拶終了後一信号通過人数 など考える コース左右歩道の人通りを考え 下見の時歩行の少ない側の歩道を選択することも試みる。 誘導員には参加者一人一人の間隔を開けての対策を考えて置く 誘導員には一般歩行者を最優先で誘導対応させる方法も考えて置く。 誘導員には参加者がコース途中異常発生時緊急連絡先など、指示と急を要する時の救急対応対策も考えて置く。 交差点信号待ちの時、密を避けるための 誘導方法を考えて置く ゴール会場 1 k m手前から密を避けるための誘導方法も考えて置く ゴール寸前受付の 密を避けるための誘導整理方法も考えて置く ゴール後完歩賞などの渡し方 方法も考えて置く ゴール受付後 I V V やスポンサー商品などの受け取り順番待ち、密を避けるため誘導整理方法を考えて置く ゴール後会場広場にて食事をする参加者に密にならず散らばって休憩などを含めた誘導整理対応も考えて置く 参加者が用いたゴミなどの対応策を考えて置く 軽いウエグ等の会場にての応急処置対応も考えて置く コース誘導員早めに呼びかけて確保手段を考えて置く</p>

項目	感染症予防対策
行事運営	<p>受付前の対応</p> <p>誘導員はすべてフェイスシールド装着</p> <p>受付前の密にならないよう待機場所に誘導員を配置</p> <p>参加当日体調チェック項目用紙を長机に筆記具と消毒液を用意し記載させる、ここにも誘導員配置</p> <p>受付前の密にならないよう待機場所に誘導員を配置（一人2m間隔をあけるスペース）</p> <p>マスク着用、体温測定を通し異常有り無し決定後、体調チェック確認後 受付開始</p> <p>コース誘導員には、事前にコース配置につく前に一般歩行者を最優先で誘導指示を出しておく</p> <p>受付終了後 出来るだけ密を避けるため、速やかにスタート誘導員配置</p> <p>出発待機の場合は一人2mの間隔をあけ、蜜を避けて待機誘導員を配置しスタート前の挨拶に備える</p> <p>挨拶終了後 感染防止対策のためスタートに時間を多くとり人数 25名前後で1分～2分間隔で3グループ スタートさせてそのあとは1分間隔目安でスタートさせ 送り出しますが、先の信号で密の可能性がでてきたら、トランシーバー等で連絡一時スタートを止める対応誘導員を配置</p> <p>誘導員には一人一人の間隔を十分開け、大声でのおしゃべりをしない等 A3 ラミ加工したプラカードを胸に吊るすのではなく両手でまたは片手にて、上に掲げ 密を避ける注意を指示協力 しっかりアピールする。（声は出さない）</p> <p>交差点信号待ちの時 誘導員は蜜を避ける用 プラカードを用いて協力アピールする</p> <p>別の方法として、交差点信号待ち密を避けるために歩道の半分を使用し 30m位ある軽い色付きテープを使用で前後 2名の誘導員にて張り、細長い列で待機させ横断させる</p> <p>誘導員は参加者にコース途中異常が発生した時には大会本部に連絡後指示に従って行動するか、急を要するときは119にて救急車呼んで対応のち大会本部に報告。</p> <p>ゴール会場 1km手前から密を避けるためのより間隔を開ける誘導に入る</p> <p>ゴール寸前受付の 密を避けるため整理誘導員を会場に配置</p> <p>ゴール後完歩賞などを渡して、流れ解散とする。</p> <p>ゴール受付後 I V V やスポンサー商品などの受け取り順番待ち列、密を避けるための整理誘導員を配置</p> <p>ゴール後会場にて食事をする参加者に密にならず散らばって休憩などを含めた整理誘導員を配置</p> <p>参加者が用いたゴミなどは各自家に持ち帰ってもらう。（ゴミ箱は一切置かない）</p> <p>アンカー通過後 コース誘導員は固まって帰らず、速やかにゴール会場に直接戻り、本部の指示のもと会場整理誘導に加わる</p>

◆受付について

- ①並び列は、お客様同士の距離が近くならないよう待機目印の設置を行う。
- ②マスク着用して受付をしていただくようお願いする。(乳幼児については任意とする)
- ③受付時に非接触型体温計での検温と手の消毒のお願いをする。
- ④参加時の人数は、1組2名様(お子様+保護者)までとする。
- ⑤厚生労働省の接触感染アプリのインソールの協力。
- ⑥イベント参加日から2週間以内にコロナに感染した場合は、大会事務局に必ず連絡。

◆誘導について

- ①待機列は、お客様同士の間隔が空くよう床に待機目印の設置を行う。
- ②入口から出口までの導線を「一方通行」とする。
- ③各所にソーシャルディスタンスのサインを置き、密接にならないよう呼びかけを行う。
- ④イベント実施中の除菌作業は、参加を終了した箇所から随時除菌を行い、必ず除菌作業を終えた箇所から案内を行う。
- ⑤出入り口にて消毒液を設置し、終了時にも消毒のお願いをする。

◆その他について

- ①備品等は、使用后必ず除菌作業を行ってから使用する。
- ②POP・感染症対策用品を会場内の必要カ所に掲示する。

<使用備品>

並び列:POP、消毒液の設置、受付:飛沫防止シート・消毒液の設置  
 参加時:飛沫防のパーテーション・除菌備品の設置、出入り口:消毒液の設置

設置場所：受付,入口

設置場所：並び列

<感染症対策POP>

<飛沫防止シート・パーテーション>

※検温が必須となる場合は、別途で検温機器の費用が発生いたします。

<飛沫防止シート・パーテーション>



※画像はイメージです。

<感染症対策POP>

設置場所：受付,入口



設置場所：並び列



項目	対応方法		
<p>シンプルな運営</p>	<p>①受付 パンフレットを配布 「注意事項を必ずよくお読みください」とお声掛け</p>	<p>②スタート 周辺で、感染予防や歩行時の注意点をリピートアナウンス。拡声器を必ず用意</p>	<p>③ウォーキング スタッフは、ソーシャルディスタンスや声の大きさ、マスクの着用、人の滞留などに目を配りながら、参加者へお声掛けする ※注意事項を手持ちするなど、できるだけ大声を発さない</p>
	 	<p>④ゴール 完歩賞をお渡しして、流れ解散</p>	<p>・ある程度の人数がまとまってからスタートできるように誘導する(最大20名程度) ・前との間隔が空くため、スタート当初は分かり易いコースが良い。 ・必ず受付を通し、全参加者の追跡が可能にしておく</p>

<p>ウォーキング</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者同士の間隔を2m以上あけるようにスタッフは誘導（介助者などは除く）</li> <li>・熱中症対策などで、マスクを外す場合は4～5m以上の間隔をあけるよう誘導</li> <li>・ウォーキング中の大声での発声はご遠慮いただく</li> <li>・歩道の狭い場所や対向者がいて邪魔になる場所は避け、コース設定時には広い歩道を推奨</li> <li>・熱中症対策として、30分に一度程度の給水を推奨する</li> <li>・息切れしない程度のペースで歩くよう推奨する</li> </ul>	
	<p>スタートやウォーキング中イメージ</p> <p>マスク着用時</p>  <p>前の歩行者と2m以上間隔をあける</p>	<p>※前後2m以上開け、一組ごととに列になってウォーキングを実施。道幅が広く2列以上になれる場合はできるだけ十分に距離をとり前と直線にならないように歩く事が望ましい。</p>

項目	対応方法
運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完歩賞は清潔を保ったうえで長机等のテーブル上に並べセッティング。アルコール等消毒液も同テーブル上に並べる</li> <li>・スタッフ用ビブスは使いまわさない</li> <li>・誘導旗やパネルはできる使いまわしは避け、引き継ぐ際は衛生に留意する</li> <li>・アンケート&amp;ペグシルはパンフレットに挟みお渡し。回収はBOXを用意</li> </ul>
備品の返却	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビブス : 着用済みはビニール袋へまとめて密封し、使用済みと分かるように表記をし、ツールセットのBOXに入れ返却 ※クリーニングは事務局側で実施</li> <li>・ビブス以外 : できる限り清潔な状態で、ツールセットのBOXに入れへ返却</li> <li>・ノベルティ : 内袋に包装されたナップサック・缶バッチは、外袋から開梱したものは返却せず各支社で保管</li> </ul>
ゲスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記念撮影は行なわない（行なう場合は要相談）</li> <li>・感染予防対策によりスタート、ゴールに時間を要するため、長時間拘束とならないように配慮して出演計画を立てる。 出演依頼事項は、①参加者お見送り または ②参加者お出迎え とする。 ※上記以外の依頼をする場合は、感染予防に留意し、主催者と協議のうえ決定する</li> <li>・ゲストやスタッフの健康状態の確認も行なう</li> </ul>
中止・順延	<p>他のイベントに比べ、地方自治体の方針の影響を受けやすいため、開催・順延・中止の判断を共通の手順書に従い、必ず行なうこと。</p>

# 「ウォーキングイベント参加 健康チェックシート」

★感染症対策として、体調に不安な方は 参加を見合わせをお願い致します★

【重要】 イベント参加日から2週間以内に感染した場合は、大会事務局に必ず、連絡してください。

安心してイベントに参加して頂くために、当日の感染症対策・体調に関するチェック項目の確認並びにイベント参加の際は、ウォーキングマナーや 注意事項など 厳守していただきますよう協力の程 宜しくお願い致します。

## 参加当日の感染症対策・体調に関するチェック項目

新型コロナウイルスワクチン接種しましたか

無接種 ・ 1回目接種 ・ 2回目接種済

新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触は、過去14日以内に  
外国へ渡航 又は渡航した人や 同居家族など身近にいた感染者との  
感染が疑われる人などと接触しましたか

いいえ ・ はい（おおよそ 日前頃）

参加当日の体温（ 度 分）

参加前2週間における以下の事項

回答欄

平熱を超える発熱（おおむね 37度5分以上）

はい

いいえ

せき・のどの痛みなど風邪の症状ありますか

はい

いいえ

だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）ありますか

はい

いいえ

嗅覚や味覚の異常がありますか

はい

いいえ

体が重く感じる、疲れ易いと感じていますか

はい

いいえ

昨夜の睡眠は十分にとりましたか

はい

いいえ

食欲はありましたか

はい

いいえ

下痢はしていませんか

はい

いいえ

頭痛や胸痛はないですか

はい

いいえ

関節の痛みはないですか

はい

いいえ

疲労・過労はないですか

はい

いいえ

## 注意事項

- イベント中は水分補給や十分な休息をお願い致します。決して無理はしないで歩行をお願いします。
- ウォーキング中にケガや体調不良などが発生した場合は、コースマップに記載の大会本部連絡先（イベント会場内・応急処置のみ）にお知らせください。或は 近くにいますコース誘導員にお知らせください。
- コースマップに記載あるウォーキングマナー 5ヶ条お守り下さい
- 会場や歩行中の喫煙後のポイ捨てはお辞めください。一切のゴミはお持ち帰りお願いします。
- ながらスマホはお辞めください。
- 新型コロナウイルスワクチン感染防止対策としてコース誘導の誘導員の指示に従ってください。
  - ・マスクの着用をお願いします。
  - ・37度5分以上の方は参加をご遠慮ください。
  - ・歩行中だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）なんとなくふらつくような感じがしたら速やかに歩行を中止し大会本部にお知らせください。

記入後 参加受付の際 提示ください